

神戸市会 第2回定例会市会【平成30年12月7日】 本会議 一般質問を行いました

神戸市会HPでも録画中継が閲覧できます。



Q.1 ヤミ専従問題について、健全な労使関係について

住本 質問 第三者委員会の中間発表によると、歴代の市職員出身市長との選挙協力が背景にあるなど、驚くべき長年の労使関係における癒着の報告があった。そうした政治的な関与が労使の馴れ合いを生み、不適正な労使関係を形成してきたものと思われる。今後、労使関係の適正化のためには、職員の政治的関与を厳格に制限すべきだと考えるが、見解を伺いたい。

岡口 副市長 職員の政治的行為の制限については、公務員の政治的中立性を確保することを目的として、地方公務員法第36条に規定されていると承知している。中間報告においては、ヤミ専従の諸問題に関して、神戸市職員が第36条に規定されている制限違反、または疑いがある事実はないと認識している。

労使関係の適正化と政治的行為の制限は、別個の問題として考えるべきものと認識している。しかしながら、労使の癒着や馴れ合いが今回明らかになっている諸問題と密接に関わっていることは明白であり、第三者委員会の最終報告を踏まえ、労使関係の適正化に向けて適切な対応を行いたい。

Q.2 須磨多聞線測量開始について

須磨多聞線西須磨工区については、測量、ボーリング調査が開始された。地元の3自治体(西須磨東部、須磨天神町、桜木町)と1団体(西須磨都市計画道路公害紛争調停団)が市長に質問状を送付するなど、まだ事業着手できる地元住民理解が得られていない。

住本 再質問 測量開始(7月18日)前日に建設局担当課長に「明日8時30分に地元住民が行くので来てほしい」と住民側から連絡しているが、当日は現地に担当課長は現れなかった。貴重な住民との話し合いの機会を逃したのではないかと。当日は約80人ももの住民が集まっていたが、なぜ来なかったのか。

油井 建設局長 公道上での説明では、十分な説明ができないという判断である。前日連絡を頂いたが、「測量の確認に行く」という話はしたが、「抗議集会に行く」とは言っていない。公道上というのは望ましくないという判断である。

住本 再質問 自治会は「地域課題の解決を住民自ら解決する住民組織」とある。地域課題解決のためには、行政と住民が話し合いの場をもつべきではないか。地元自治会等の軽視ではないか。

岡口 副市長 地域住民、自治会を軽んじたことは一度もない。かねてより様々な形で地域で説明会を重ね、話し合いについても当然参加する意向をもって様々な情報を流している。現時点で話し合いを持っていないのは残念であるが、須磨多聞線の必要性から着実にすすめていきたい。

Q.3 須磨海浜公園エリアの防災拠点、ユニバーサルビーチ化について

住本 質問 須磨海浜公園・水族園・シーパル須磨については、Park-PFI制度※を活用した再整備が予定されており、コンセプトのひとつとして一年を通じた多様な利用者層やニーズへの対応が挙げられている。

そこで、再整備においては、近年の自然災害の大きさから鑑みて防災拠点として役割や、ユニバーサルビーチ化といった車いすの方や、ベビーカー持参の乳幼児を連れた方の常設施設を検討できないか。

※Park-PFI制度：表面参照

岡口 副市長 再整備にあたって、防災拠点としての機能を確保する必要性を認識しているところであり、民間事業者からの公募についても防災機能の確保を条件付けたいと考えている。今後、民間事業者からの具体的な提案を受け、災害時にどのような対応が可能か検討していく。

さらに、ユニバーサルビーチとしての機能については、今年度(平成30年度)の海水浴期間中に仮設の障がい者便利施設(シャワーやトイレ等)を設置し、好評を得ている。

一方で、海浜公園は老朽化した舗装などにより、車いすやベビーカーが通り難い箇所もある。再整備に向けては、バリアフリー化を実現させる必要があると考えており、須磨海岸のユニバーサルビーチ化の取り組みと連携して、公営施設の再配置やバリアフリー化について民間事業者へ提案を求めたい。

Q.4 2025年大阪万博開催について

住本 質問 開催が決まった2025年大阪万博について、市長は医療産業都市を万博を通じて世界に発信していく事や、万博会場と神戸との海上ルートの設定ができないかなど、積極的な姿勢を示されている。

万博は観光面や産業面をはじめ様々な分野で本市にとっても好機となることから、市内関係団体と連携をとりながらこの機会を最大限活用するための取り組みが必要と考えるが、今後どのような施策展開を図っていくのか見解を伺いたい。

久元 市長 大阪万博の開催は、全世界に向けた関西の存在感を示す絶好の機会である。大阪府市をはじめとした近隣都市、関西広域連合の枠組みを通じて関係団体とも必要に応じて連携しながら万博開催に様々なかたちで関わってきたい。

神戸医療産業都市については、神戸医療産業都市推進機構の本庶 佑(ほんじょ たすく)理事長のノーベル賞受賞もあり、神戸で蓄積された最先端医療技術を万博を通じて世界にPRする機会になると考えている。また、万博会場となる夢洲と神戸は海上交通により20分程度で結ぶことができる可能性がある。来場者に海上交通を利用して神戸から万博会場に行っていただくことは、神戸への流客手段として魅力あると考えており、今後検討したい。

神戸市としてどのような施策が効果的なのかについては、万博運営組織発足後に、関係自治体と協議しながら可能性を模索していきたい。



「身を切る改革」実行中!

10月に消費税が10%になります。市民に税負担を押し付ける前に、私達議員がまずはするべきことがあります。住本は自ら「身を切る覚悟」を示し、行財政改革を進めます!

1・7月ボーナス増額分、9月以降、報酬手取額約2割相当分を災害被災地に寄付を続けています

平成30年度の寄付状況

1月	宮城県石巻市	154,691円
7月	大阪府北部地震(大阪府)	116,125円
9月	北海道厚真町災害義援金	120,000円
11月	広島県呉市災害義援金	120,000円
12月	岡山県倉敷市災害義援金	120,000円
合計		630,816円



市民の皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。

公式サイト <http://www.k-sumi.jp>

E-Mail suma@k-sumi.jp

住本かずのり 検索

住本かずのりオフィシャル Facebook

市政相談 受付中

発行：日本維新の会 神戸市議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6丁目5番1号 1号館29階
TEL: 078-322-0185
FAX: 078-322-0184

神戸市須磨区支部
〒654-0051
神戸市須磨区月見山本町2丁目6番15号
TEL: 078-735-8231
FAX: 078-735-8231